

地方創生

教育魅力化事業の実践

島根県津和野町



1.魅力的な教育の実践

①教育資源の融合と活性化

まちの人や自然環境・伝統文化等の資源を組み合わせ、教育魅力化による「ひとづくり」を継続・発展させることによって、社会変化に対応する人材を育みます。

②教育魅力化事業の持続と発展

生徒が大人とともに学びあうことで、社会を知る教育実践と産業の活性化を図ります。

③産業が活性化する学びの実践

社会に貢献できる人材を育成し社会課題の解決に取り組みます。

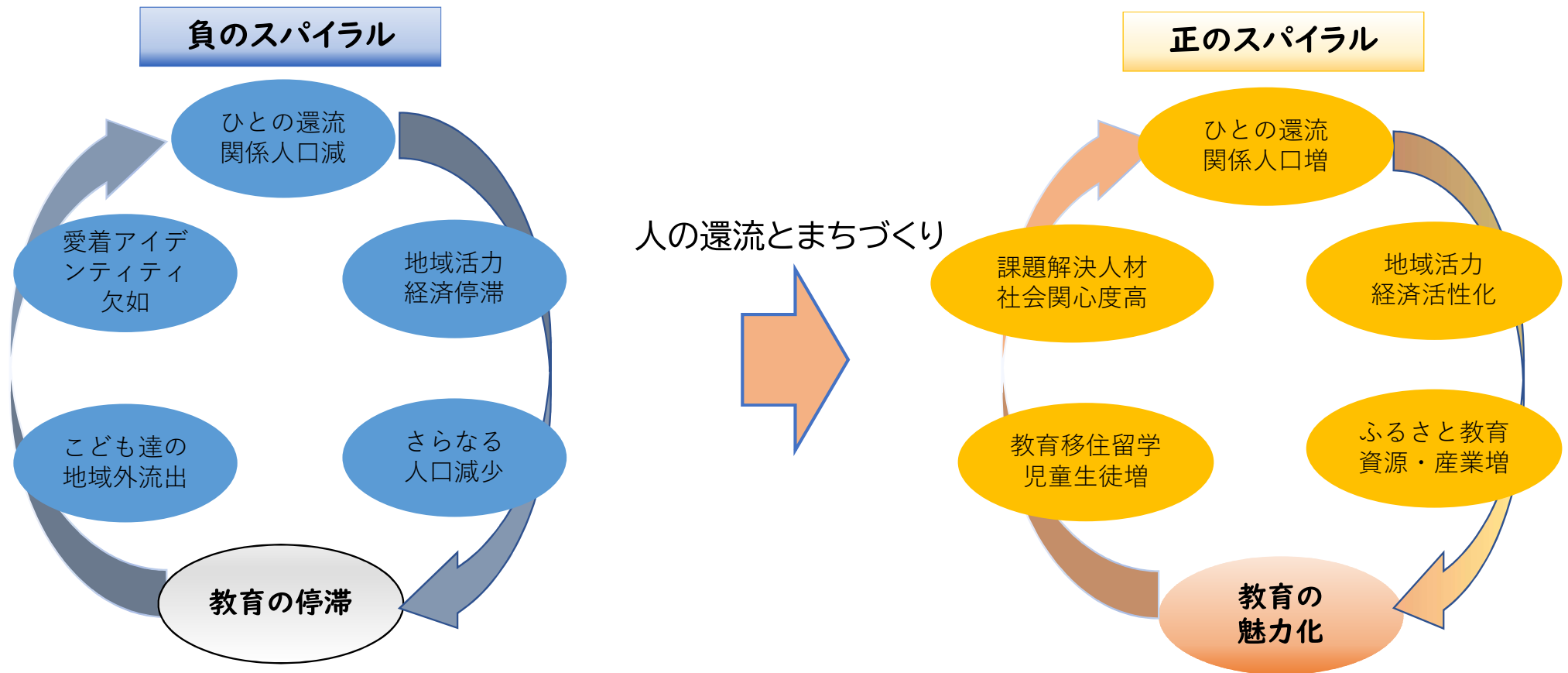
デジタルサイエンスを活かし、地理的条件を克服する学びを展開します。

探究的な学びにデジタルサイエンスを取り入れ、自然や文化を融合した教育活動を実践します。

津和野町はこうした取組を企業の皆様とともに進めたいと考えています。

1.魅力的な教育の実践

- ・子どもたちの学ぶ意欲を高める魅力ある教育には社会活動との連動が有効
- ・住民や企業との活動を教育活動に融合させることで地域や産業を活性化



2. 寄付金の使途

① 教育魅力化コーディネーターの配置費

高校をはじめとする町内の学校等に教員と生徒、学校と地域、地域と生徒をつなぐ役割の教育魅力化コーディネーターを配置することで教育の魅力を高めます。

② 町営英語塾の運営費

中高生が通う町営英語塾の運営をととして、子どもたちの学習環境の確保と学力向上に取り組めます。

③ デジタル機器の活用経費

デジタルサイエンスを教育に取り込むため、デジタル機器の更新や維持管理経費に活用します。

3.企業様のメリット

①ひとづくりへの投資

人材育成を応援することで企業イメージの向上に寄与します。

②行政との連携事業

行政が担う教育事業と連携することで、本町のみならず社会全体の人材育成につながります。

③地方創生

人口減少等の社会課題解消につながるとともに地方と関わる機会を創出します。

④共同事業の実践

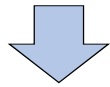
生徒向けの講演会やワークショップに参画していただけます。

⑤ホームページの掲載

本町ホームページに企業様の名称を掲載させていただきます。

4.背景

- 人口減少から津和野高校入学者が減少



- 町内に唯一の津和野高校の存続危機



- 町から高校がなくなると、子どもたち学ぶ機会が中学生までに
- 高校生が町からいなくなれば、町に回帰する人が減少
- 地域の産業や伝統文化の担い手が不足
- 人口減少による負のスパイラル化によって町の存続危機に



5-1.津和野高校存続の危機からの脱出

①教育魅力化コーディネーターを配置

- ・ 島根県立津和野高校存続のため、津和野町が後援会を設置
- ・ 津和野町が高校魅力化コーディネーターを津和野高校に配置
- ・ 地域に開かれ、住民とともに学ぶ、地域に開かれた学校づくり
- ・ 中学校にも教育魅力化コーディネーターを配置



②町営英語塾の設置

- ・ 津和野高校に町営英語塾の設置。対象は高校生と地元中学生
- ・ 生徒の居場所としても活用。授業後の自習にも活用
- ・ 英語を主体に国際理解の場所としても活用
- ・ 津和野高校と連携した海外留学支援



5-2.津和野高校存続の危機からの脱出

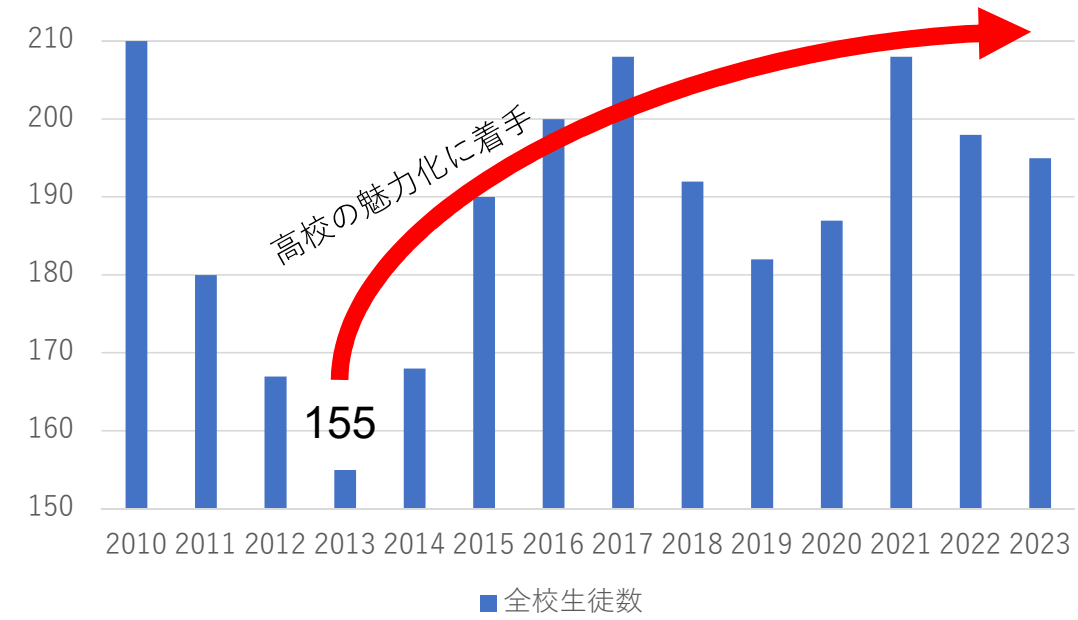


5-3.津和野高校存続の危機からの脱出

→多様な人との出会いや協働の場が
高校生にとっての魅力！

③生徒数の推移

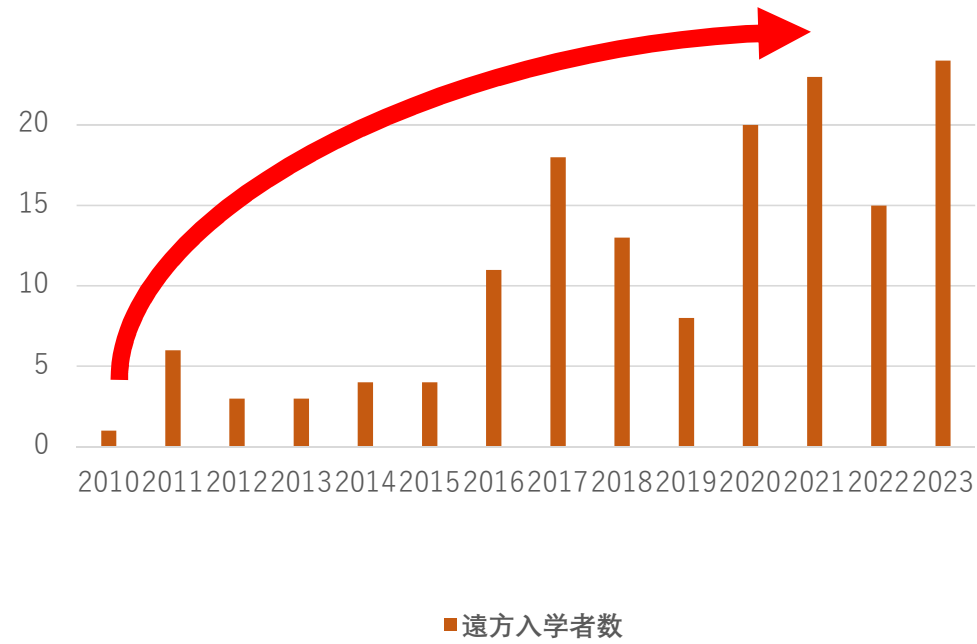
津和野高校全校生徒数の推移



津和野高校における高校魅力化の取り組み

H25年度（2013年）高校魅力化コーディネーター1名を配置

県外生徒数の推移



H26年度（2014年）町営英語塾HAN-KOHを高校敷地内に設置

6. 0歳児からのひとづくり

「自ら学び続ける」地域総ぐるみによる0歳児からのひとづくり

～ 学び続ける・問い続ける・変化し続ける町 ～

まち全体が
学びの場

Learning happens everywhere
not just in the classroom

育てたい子ども像

大人になっても
「自ら」学び続けるひと

0歳からの学び

0歳から就学前の幼児教育の充
実と親への学びの環境づくり

課題を見抜く力

課題との接点・発見
社会との関わり
知識の関連付け

対話する力

ひととの関わり
多様性の受容
情報獲得・判断

【ヨコの連携】

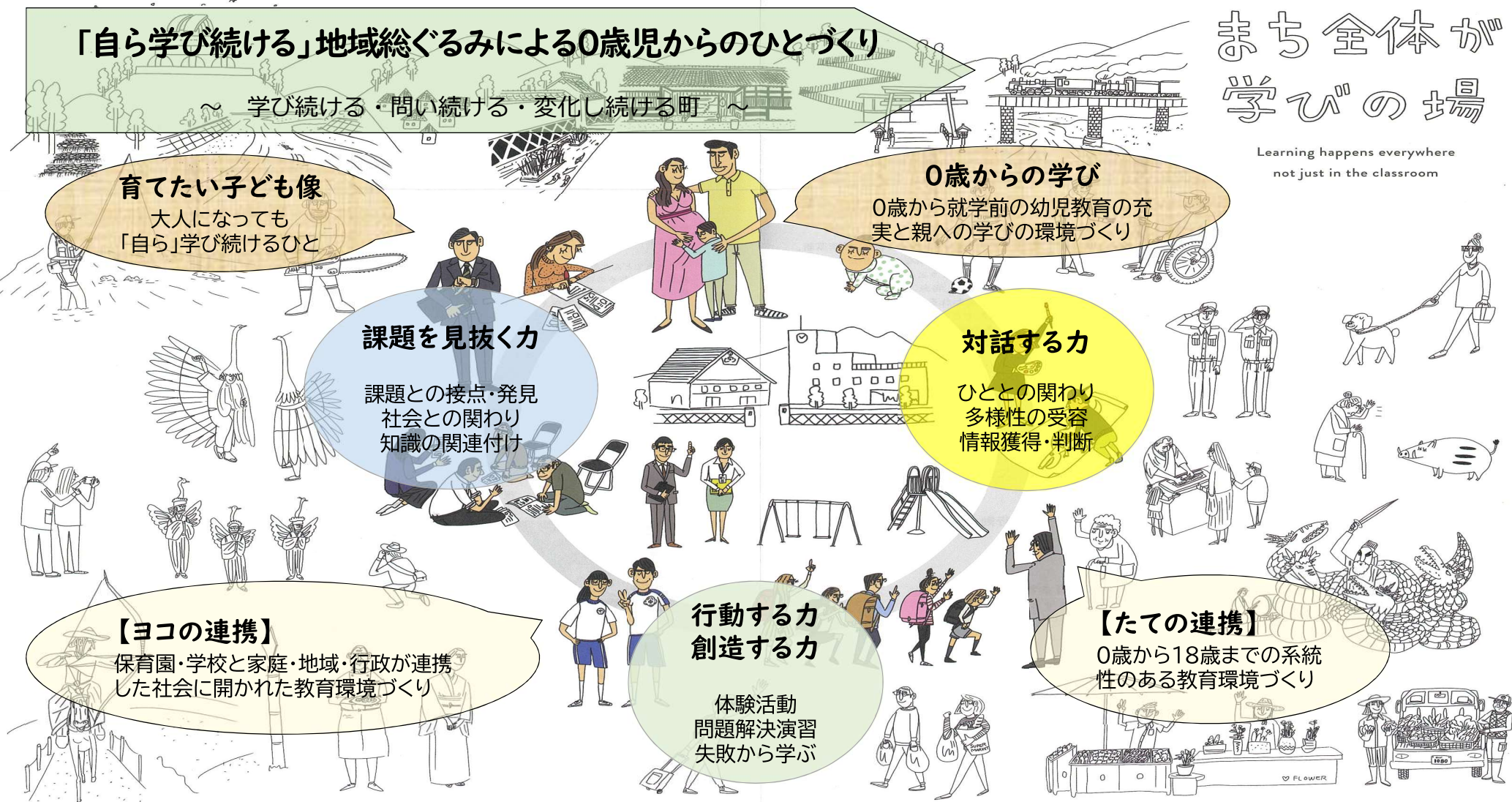
保育園・学校と家庭・地域・行政が連携
した社会に開かれた教育環境づくり

行動する力
創造する力

体験活動
問題解決演習
失敗から学ぶ

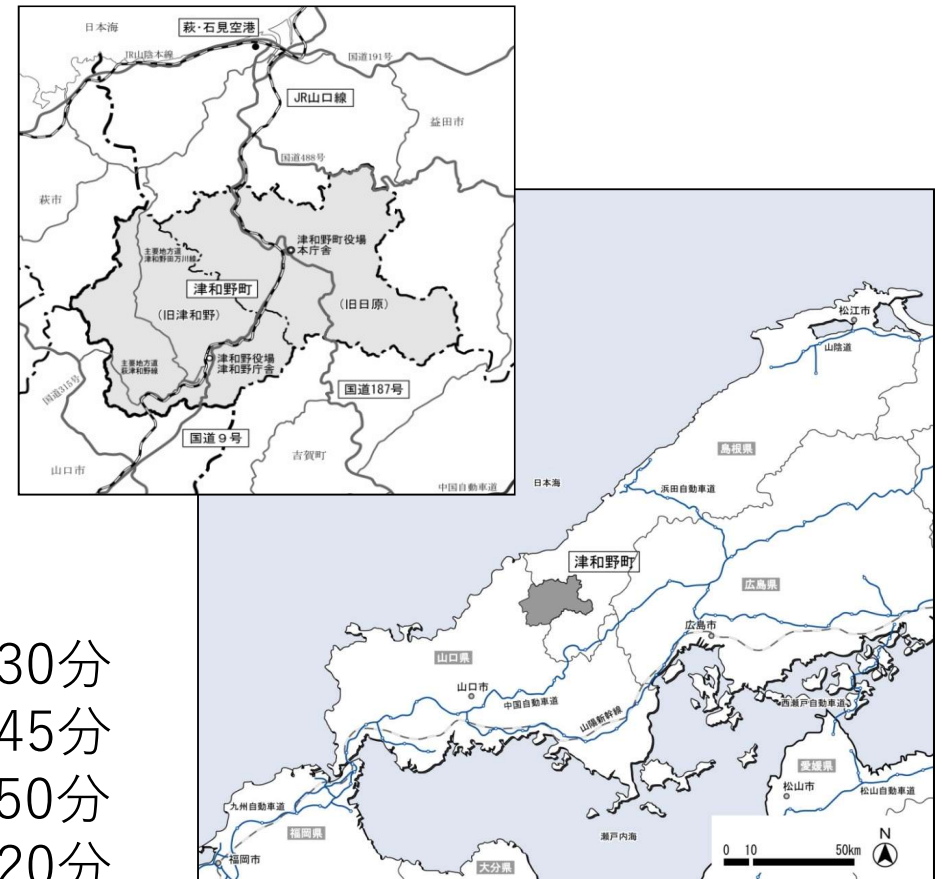
【たての連携】

0歳から18歳までの系統
性のある教育環境づくり



7.津和野町の概要

所在	島根県の最西端に位置		
	面積307km ² 約9割が山林		
人口	6,624人（令和5年11月現在）		
高校	県立津和野高等学校	195人	
中学校	町立2校	129人	
小学校	町立4校	250人	
保育園	町立2園、民営5園		
公民館	10館		
主な産業	農業、観光業		
特産品	鮎、わさび、サトイモ、栗、米		
アクセス	羽田空港-萩石見空港	1時間30分	
	萩石見空港-津和野町	45分	
	中国自動車道六日市IC-津和野町	50分	
	新幹線新山口駅-津和野町	1時間20分	



企業の皆様の温かいご支援
お待ちしております。



津和野町イメージアップキャラクター
「つわみん」

お問合せ窓口

津 和 野 町 つ わ の 暮 ら し 推 進 課

〒699-5292

島根県鹿足郡津和野町枕瀬218番地18

TEL：0856-74-0092 FAX：0856-74-0002

Mail：t-kurashi@town.tsuwano.lg.jp